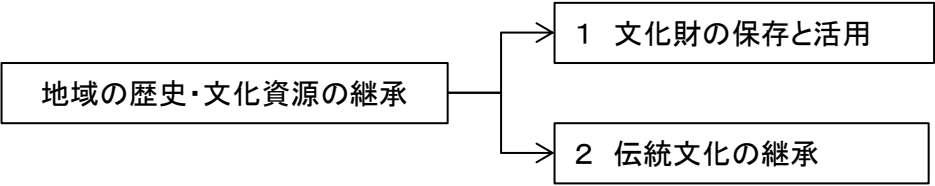


施策 5 地域の歴史・文化資源の継承



基本事業 1 文化財の保存と活用

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	H29実績	H30実績	R2目標		
5-1-1 文化財調査研究事業(復興交付金分)	埋蔵文化財	・埋蔵文化財を記録保存する ・調査報告書を作成し、調査結果を公開する	個人住宅建設に係る発掘調査資料の整理、開発行為に伴う事前調査	①発掘調査による出土遺物量 ②発掘調査報告書を刊行した遺跡数	①箱 ②遺跡	①0 ②3	①0 ②2	①50 ②3	A 復興創生期間内の事業完了に向けて、発掘調査の可能性の有無など、事前情報の把握に努めるとともに、限られた人員で他の文化財事業と並行して、適切に当該事業を実施した。	○ 震災復興に関連した開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査が急増したことから、これを最優先で実施しているが、将来にわたる安定的調査体制の整備が必要である。
5-1-2 博物館収集保管事業	市立博物館	気仙地域の自然と文化の理解に資する資料を収集し、適切に保管する。	資料の収集及び受入と整理及び登録、博物館資料管理システムの活用、資料の保管と保存環境の管理、博物館資料の燻蒸、図書資料の収集・管理など	①受入資料件数 ②滅失・損傷した資料件数	①件 ②件	①3,319 ②0	①3,350 ②0	①3,370 ②0	A 博物館資料を収集・蓄積し、保存・継承するとともに、「気仙地域の自然と文化」をテーマとした事業を実施しながら次世代への継承を図っている。	○ 文化財等の適切な保存と活用を図るため、専門職員の安定的確保が必要である。



基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H29実績	H30実績	R2目標	
5-1 文化財の保存と活用	①文化財 ②市民	①適切に保存・継承される。 ②地域の歴史を知り、郷土への愛着を育む。	①国、県、市の指定文化財の件数 ②博物館資料登録件数 ③博物館入館者数	①件 ②件 ③人	①87 ②3,319 ③7,691	①87 ②3,350 ③7,657	①87 ②3,370 ③7,700	A 有形・無形の文化財の保存は適切に行われている。 また、市民の文化財に対する認知を高めるため、関係機関・団体等の支援と連携を図りながら、文化財めぐりはじめ、考古資料関係展示、縄文缶バッチづくりや勾玉づくりなどの体験学習会を実施している。

基本事業 2 伝統文化の継承

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	H29実績	H30実績	R2目標		
5-2-1 こども郷土芸能まつり開催支援事業	こども郷土芸能まつり実行委員会	円滑に事業を運営してもらう。	こども郷土芸能まつりの開催（隔年開催）	市補助金額	円	—	516	800	B まつり開催に対する出演者や来場者の満足度は高いが、出演団体や来場者が減少している。	●こども郷土芸能まつり開催のあり方や郷土芸能の後継者育成、当事業以外の後継者確保の取組等について検討が必要である。
5-2-2 文化財保護管理事業	指定文化財、埋蔵文化財	文化財が現状維持される。	文化財公有地等の刈払い、国特別天然記念物ニホンカモシカの保護及び滅失処理、天然記念物銘木樹勢回復、民俗芸能の育成支援、開発行為に係る埋蔵文化財の保護指導など	①滅失せず現状が維持された指定文化財数 ②郷土芸能協会加盟団体出演回数	①件 ②回	①87 ②57	①87 ②55	①87 ②50	A 文化財の保護・管理は概ね適切に行われている。	●文化財の保護・管理は概ね適切に行われているが、長期的視点に立って、安定的に文化財保護行政を執行するための体制整備や市指定文化財の指定基準や手順を明確にする必要がある。



基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H29実績	H30実績	R2目標	
5-2 伝統文化の継承	伝統芸能継承団体	後継者を育成し、伝統文化を継承する。	①大船渡市郷土芸能協会加盟団体数 ②「郷土芸能や地域の祭などが盛んである」と答えた市民の割合（市民意識調査）	①団体 ②%	①32 ②51.2	①32 ②50.6	①32 ②60.0	A 少子高齢化や人口減少の進行などにより、後継者や人材不足が言われる中、関係者の熱意と努力により、郷土芸能をはじめとする伝統文化が次世代に継承されている。 平成30年11月、国指定重要無形文化財「吉浜のスネカ」を含む、「来訪神行事：仮面・仮装の神々」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことから、世界に誇れる地域行事の魅力を広く発信するとともに、保存会の意向を踏まえながら、保存・継承に向けた取り組みを進めている。

□総括

施策名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H29実績	H30実績	R2目標	
5 地域の歴史・文化資源の継承	市民	郷土の伝統や文化を知り、郷土に誇りと愛着を持つ。	「郷土の伝統文化や文化財を大切にしたい」と答えた市民の割合(市民意識調査)	%	79.9	81.4	80.0	A 震災復興に関連した開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査が急増し、多量の埋蔵文化財が出土したが、専門職員が中心となって、発掘調査や整理作業を精力的に行っており、当市の埋蔵文化財の質・量とも充実が図られている。 郷土芸能の伝承については、震災後、改めてその価値が見直されるとともに、三陸国際芸術祭の開催など、地域外の人々の参画や体験・他地域との交流が図られている。 震災後、被災により継続が危ぶまれた郷土芸能保存団体も多く見られたが、全国各地からの支援を受け、再生に取り組んだ結果、郷土の伝統文化の価値を再確認し、大切に保存・伝承しようという動きに繋がった。 また、吉浜のスネカがユネスコ無形文化遺産に登録されたことにより、地域の伝統行事が世界的に注目を集めたことから、保存会の意向を踏まえながら、その魅力を広く発信した。

＜課題＞
・少子高齢化・人口減少が進行する社会情勢を踏まえた、伝統芸能の後継者確保対策の充実
・文化財を活用した市の魅力発信や交流人口拡大のための取組みの拡充